

# だんないの道

## 第3号

2011年12月24日発行

発行者：NPO法人CILだんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町

千田681番4

E-mail：dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつ	・・・P1
第1回定期総会報告	・・・P2
ピアカウンセリング入門講座	・・・P8
活動報告	・・・P9
コラム「ヨリの雑記帳」	・・・P12
職員リレートーク	・・・P14
取材 新聞記事	・・・P15
ご寄付をいただきました	・・・P16



### 代表あいさつ

去る6月10日(金)、NPO法人CILだんないの第1回定期総会が開催されました。ご参集いただきました方々、また期日前に委任状を送付していただきました方々のおかげさまをもちまして、総会の定足数に達し、無事総会を成立させることができました。そして建設的な議事進行の末、全2つの議案が承認されました。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。ご報告が遅くなり、申し訳ありません。

さて、今年も残すところわずかとなりましたが、4月から本格的に事業がスタートしています。たとえば、ピアカウンセリング事業として、「ピアカウンセリング入門講座」を県内外の障害者を対象に実施しています。6月5日の、だんない初の講座には3名の当事者が参加されました。うまく進行できるかという不安がありましたが、仲間の支えもあり、すべてのプログラムが計画通りにできました。来年も定期的に関催し、ピアカンの必要性を訴えるとともに、ピアカン仲間の輪を広げていければと考えています。

6月中旬には、事務局長の頼尊、居宅介護事業所「さざなみ」の管理者である高橋、美濃部の3名で、沖縄で開催される、さまざまな障害者団体で組織する「DPI」の全国大会に参加しました。全国のさまざまな考えを持つ障害者が一堂に会す、この大会でたくさんの方々と交流し、多くのことを吸収することができました。一方で、だんないの考え方を色々な方々に伝えられました。

沖縄にいる間に美ら海水族館や首里城などに訪れましたが、この辺りでは信じられないような場面に遭遇しました。車椅子を借りるだけで名前や住所といった個人情報を書き記述しなければならなかったり、障害者手帳を所持していなければ後ほどFAXで送付しなければならなかったり、個人情報を軽んじていると思わざるを得ない出来事がありました。沖縄は障害者の差別禁止条例の制定に向けた取り組みが活発ですが、このような差別的な事例が起きているのが現実です。それも世界に誇れる美ら海水族館で起きていることが残念でなりません。しかしながら、おそらく沖縄に限ったことではなく、滋賀県でも潜んでいるかもしれません。沖縄を批判するだけではなく、私たちの活動を見つめ直す機会にしなければいけないと思っています。そして、これからのだんないの活動に活かしていきたいと考えています。

『活動報告』の通り、まだまだ報告したいことがたくさんありますが、ここでは書き切れません。お会いした際にいろいろと聞いていただければ幸いです。このように、だんないの活動は少しずつ動き始めていますが、だんないの理念を実行させていく困難さもヒシヒシと感じています。しかし、このようなときこそ、職員一同で知恵を出し、協力しながら、自立生活運動に取り組む所存です。

今年1年、皆様には本当にお世話になりました。来年も引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。道端の看板も付きましたので、お近くまで来られた際は是非お越しください。



## ご報告

代表あいさつでも申し上げましたが、去る6月10日(金)、NPO法人CILだんないの第1回定期総会が開催されました。総会資料をご周知するのが大変遅くなりまして、申し訳ありません。

次頁より5ページに渡り、総会関連資料を掲載しました。ご確認ください。今後ともご支援、ご協力いただきますよう宜しくお願い致します。

平成22年度事業報告書  
平成22年12月3日から平成23年3月31日まで

NPO法人CILだんない

1 事業実施の方針

どんなに障害が重い人々でも地域で自立生活が営めるように、事業体制を整え、実施・提供する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
障害観変革事業	地域住民の障害観を社会モデルに転換していくために障害観変革講義などの事業を行う。	3月9日	木之本小学校	1人	湖北圏域の小 学生、40人	0

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

平成22年12月3日から平成23年3月31日まで

NPO法人CILだんない

科目	金額 (単位:円)	
<b>I 経常収入の部</b>		
1 入会金収入 1,000×31		31,000
2 会費収入		
・正会員会費 5,000×28	140,000	
・賛助会員会費 10,000×3	30,000	170,000
3 事業収入		
①ヘルパー派遣事業	0	
②ヘルパー育成事業	0	
③障害者の権利擁護事業	0	
④障害者の地域における自立生活保障事業	0	
⑤余暇活動保障	0	
⑥障害観変革事業	0	
⑦福祉に関する情報提供・相談事業	0	
⑧障害者団体のハブ的機能としての支援事業	0	
⑨事務機能請負事業	0	
⑩広報・出版に関する事業	0	
⑪①から⑩の事業を達成するために必要な事業	0	0
4 補助金等収入		0
5 寄付金等収入 (26件)		677,000
6 雑収入		
・利子	6	6
7 借入金収入		3,089,350
経常収入合計		3,967,356

II 経常支出の部			
1 事業費			
① ヘルパー派遣事業			
・ 事務所改築費	3,000,000		
・ 保険料	2,250		
②ヘルパー育成事業	0		
③障害者の権利擁護事業	0		
④障害者の地域における自立生活保障事業	0		
⑤余暇活動保障事業	0		
⑥障害観変革事業	0		
⑦福祉に関する情報提供・相談事業	0		
⑧障害者団体のハブ的機能としての支援事業	0		
⑨事務機能請負事業	0		
⑩広報・出版に関する事業	0		
⑪①から⑩の事業を達成するために必要な事業	0	3,002,250	
2 管理費			
・ 役員報酬	0		
・ 給与手当	0		
・ 福利厚生費	0		
・ 租税公課	4,000		
・ 旅費交通費	0		
・ 通信運搬費	10,230		
・ 印刷製本費	0		
・ 消耗品費	63,230		
・ 什器備品費	0		
・ 光熱水費	0		
・ 賃借料	0		
・ 保険料	0		
・ 会議費	3,640		
・ 手数料 (ゆうちょ銀行)	6,950		
・ 雑費	0	88,050	
3 予備費		0	
経常支出合計			3,090,300
当期収支差額			877,056
前期繰越収支差額 (設立時資金有高)			0
次期繰越収支差額			877,056

(正味財産増減の部)			
Ⅲ 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額		877,056	
建物の増加額		3,000,000	
2 負債減少額			
増加額合計			3,877,056
Ⅳ 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
2 負債増加額		0	
短期借入金の増加額		3,089,350	
減少額合計			3,085,350
当期正味財産増加額 (減少額)			787,706
前期繰越正味財産額			0
当期正味財産合計			787,706

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表  
平成23年3月31日現在

(NPO 法人 CIL だんない)

科目・摘要	金額 (単位:円)		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金および貯金	840,056		
未収会費 (7人分)	37,000		
流動資産合計		877,056	
2 固定資産			
土地 0平米	0		
建物 1棟	3,000,000		
固定資産合計		3,000,000	
資産合計			3,877,056
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
美濃部裕道より	3,087,100		
頼尊恒信より	2,250		
流動負債合計		3,089,350	
2 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			3,089,350
3 正味財産			
前期繰越正味財産			0
当期正味財産増加額 (減少額)			787,706
正味財産合計			787,706
負債及び正味財産合計			3,877,056

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成23年3月31日現在

(NPO 法人 CIL だんない)

科目・摘要	金額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	100,000		
預金			
普通預金口座 ゆうちょ銀行	305,166		
振替口座 ゆうちょ銀行	434,890		
未収会費 (7人分)	37,000		
流動資産合計		877,056	
2 固定資産			
土地 0平米	0		
建物 1棟	3,000,000		
固定資産合計		3,000,000	
資産合計			3,877,056
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
短期借入金			
美濃部裕道より	3,087,100		
頼尊恒信より	2,250		
流動負債合計		3,089,350	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			3,089,350
正味財産			787,706

## 監 査 報 告 書

平成23年6月9日

NPO 法人 CIL だんない  
理事長 美濃部 裕道 殿

監 事 藤 崇之 

私は、平成22年12月3日から平成23年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

---

## ピアカン入門講座を実施しました

7月9日（土）、8月7日（日）、10月23日（日）、12月11日（日）に事務所において、ピアカウンセリング入門講座を開催しました。お忙しい中、この講座に参加していただいた方には感謝いたします。

この講座で感じたことは、回を重ねるごとに参加者がピアカウンセリングに慣れてきたということです。感情を解放させ、クライアントに対する声のかけ方もタイミング良くなっていました。継続していくことの大切さを改めて感じました。

私自身、身体がピアカウンセリングを求めていると感じているので、今後さらに開催する頻度を高めていきたいと思っています。講座を開催する際は、ぜひご参加いただきますよう宜しくお願いします。

### ピアカウンセリングのタイムスケジュール（8月7日）

#### 13:00～ ①オリエンテーション

全日程の説明。介助者、スタッフの紹介。

#### 13:20～ ②堀先生講義

#### 14:00～ ③リレーションをつくる

参加者同志の自己紹介とたがいに親しくなるためのワーク。

#### 14:35～ ④ピアカウンセリングとは何か

ピアとは何か、ピアカウンセリングの必要性とルールについて。また、対等に時間を決めて聞きあうなど方法を伝える。ミニセッションとして5分ずつぐらいで互いに聞きあう実践。

#### 15:35～ ⑤人間の本质と感情について

ピアカウンセリングの理論…人間の本质と傷について、また感情についての説明。カウンセラーがすべきこと、してはいけないことについてのワーク、デモンストレーションを見る。ミニセッションをする。

#### 16:30～ ⑥まとめ

アプリケーション

質疑応答



## 活動報告

日付	内容	参加者
6月2日(木)	出張(熊本)	頼尊
6月2日(木)	長浜養護学校 運動会	美濃部
6月3日(金)	NPO法人ヒューマンネットワーク熊本 見学	頼尊
6月3日(金)	自立生活プログラム 事務所にて	美濃部、市川
6月4日(土)	出張(熊本)	頼尊
6月5日(日)	第1回ピアカウンセリング入門講座& 2011年度第1回CIL だんない職員研修	美濃部、市川、頼尊
6月10日(金)	NPO法人CIL だんない第1回定期総会	美濃部、市川、頼尊
6月16日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第1回住まいの場確保プロジェクト 第3回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
6月16日(木)～ 20日(月)	第27回DP I日本会議 全国集会 in 沖縄	美濃部、頼尊
6月17日(金)	自立生活プログラム 事務所にて	市川
6月20日(月)	自立生活プログラム 事務所にて	市川
6月21日(火)	滋賀県遊技業協同組合 車両引渡式	美濃部、市川、頼尊
6月21日(火)	職員入社式	全員
6月24日(金)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第18回重症心身障害者プロジェクト会議	頼尊
6月24日(金)	取材(中日新聞) 事務所にて	全員
7月1日(金)	自立生活プログラム 事務所にて	美濃部、市川
7月4日(月)	出張(自立支援センターばあとなあ)	頼尊
7月8日(金)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第2回運営委員会	美濃部
7月9日(土)	ほっとステーション ピアカウンセリング 湖北タウンホームにて	頼尊
7月12日(火)	第1回 ほのぼのかけはし講演	美濃部
7月14日(木)	ぼてとファーム交流会	美濃部、市川、頼尊
7月16日(土)～ 17日(日)	第9回アクセス・マニア全国集会 in 大阪 発表	頼尊
7月18日(月)	道端の事務所看板設置	

7月21日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第2回住まいの場確保プロジェクト 第4回相談ワーカー部会	市川、頼尊
7月22日(金)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第19回重症心身障害者プロジェクト会議	頼尊
7月30日(土)	出張(自立生活センター・ナビ訪問を含む)	頼尊
7月31日(日)	出張(自立生活センター・ナビ訪問を含む)	美濃部、頼尊
8月3日(水)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第1回全体会議	美濃部、頼尊
8月7日(日)	第2回ピアカウンセリング入門講座& 2011年度第2回CIL だんない職員研修	美濃部、頼尊
8月10(水)～ 11日(木)	真宗大谷派名古屋教区教化センター主催 「平和問題映画学習会」	頼尊
8月18日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第3回住まいの場確保プロジェクト 第5回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
8月19日(金)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第20回重症心身障害者プロジェクト会議	頼尊
8月21日(日)	ピアカウンセリング講座 ほっとステーションにて	頼尊
8月27日(土)	長浜養護学校交流会 事務所にて	美濃部、市川
8月31日(水)	2011年度第1回居宅介護事業所さざなみ職員研修	職員
9月15日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第4回住まいの場確保プロジェクト 第6回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
9月18日(日)	シンポジウム 震災と停電をどう生き延びたか 京都にて	美濃部、市川、頼尊
9月23日(金)	県身体障害者福祉協会青年部交流会 講演	頼尊
9月27日(火)	甲良養護学校 進路学習	美濃部、市川
9月29日(木)	真宗大谷派大阪教区ボランティア推進会議 講演	頼尊
10月4日(火)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第3回運営委員会	美濃部、頼尊
10月13日(木)	伊吹小学校 講演	美濃部、市川
10月13日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
10月15日(土)	長浜養護学校高等部文化祭	美濃部、市川、頼尊
10月20日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第5回住まいの場確保プロジェクト 第7回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊

10月21日(金)	第2回車座ばなし	美濃部、市川、頼尊
10月23日(日)	ピアカウンセリング入門講座 事務所にて	美濃部、市川、頼尊
10月28日(金)	長浜養護学校小・中学部文化祭 10.28JDF 大フォーラム	美濃部、市川 頼尊
10月29日(土)	第55回滋賀県人権教育研究大会	美濃部、市川
11月2日(水)	交通問題実行委員会 in 東京	頼尊
11月3日(木)	日本脳性麻痺研究会	頼尊
11月4日(金)	活動員 入社式	全員
11月7日(月)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第2回実務者会議	美濃部、頼尊
11月9日(水)	帝産湖南交通株式会社 バス交渉	頼尊
11月11日(金)～ 12日(土)	金沢出張	頼尊
11月14日(月)	大行動実行委員会 in 東京	頼尊
11月16日(水)	小谷小学校 講演	美濃部
11月16日(水)	長浜高等学校 講演	美濃部
11月16日(水)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第2回重介護・医療ケア検討部会	頼尊
11月17日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第6回住まいの場確保プロジェクト 第8回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
11月18日(金)	差別事例検討会	
11月18日(金)	近畿運輸局 交渉	頼尊
11月22日(火)	大谷大学 見学同行	美濃部
11月23日(水)	真宗大谷派大阪教区ボランティア推進会議 講演	頼尊
11月25日(金)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第3回発達しょうがい者支援部会	頼尊
11月28日(月)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 全体会議	美濃部、頼尊
11月29日(火)	職員入社式	
11月29日(火)	反貧困ネットワーク in 京都	美濃部
12月1日(木)	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊
12月2日(金)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第7回住まいの場確保プロジェクト	美濃部、市川、頼尊
12月3日(土)～ 4日(日)	第17回障害者政策研究全国集会	頼尊
12月6日(火)	朝日小学校 講演	美濃部
12月7日(水)	ほっとステーションとの食事会	美濃部

12月7日(水)	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊
12月8日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第3回重介護・医療ケア検討部会	頼尊
12月11日(日)	ピアカウンセリング入門講座 事務所にて	美濃部、頼尊
12月11日(日)	だんない交流会	美濃部、頼尊
12月12日(月)	湖北中学校 講演	美濃部
12月13日(火)	日本自立生活センター(JCIL) 夜会	頼尊
12月14日(水)	近畿運輸局 交渉 大阪教区ボランティア推進会議講演	頼尊 頼尊
12月15日(木)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第7回住まいの場確保プロジェクト 第9回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
12月18日(日)	市民福祉フォーラム第2回長浜市社会福祉大会	美濃部、頼尊
12月18日(日)	しょうがい当事者団体の集い	美濃部、頼尊
12月18日(日)	だんない交流会	全員
12月21日(水)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第4回発達しょうがい者支援部会	頼尊
12月21日(水)	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊
12月26日(月)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第4回重介護・医療ケア検討部会	頼尊
12月27日(水)	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊

## コラム

### ヨリの雑記帳(2)

私は「道」が好きだ。この道というのは例えば、道路であったり鉄道であったりする。私自身はじめは鉄道好きだと思っていた。でもよくよく考えると鉄道が好きというより、むしろ「道」そのものが好きなんだと気づいてきた。昔は、家の近くにある国鉄の駅から幼稚園や病院に通うために鉄道に乗るのが大好きであった。歳月が経って、危険ながらも自転車が乗れるようになったら、近くの公園までサイクリングに出かけるのが大変楽しみであった。京都の大学に通うようになってからは北山の山々を自転車で走り抜けるのをもっぱらの楽しみとしていた。熊本に移住し、ほどなくして自転車に乗れなくなって、電動車椅子(通称:電くる)に乗るようになった。電くるに乗るようになって、自由に動けることが楽しくて、熊本の街々をさまよい歩いた。気がつけば、東京に行けば、山手線数駅の区間なら、電くるで歩くことが癖になっていた。

木之本に移住して、しばしば車に便乗することがある。よくよく道路標識を見ると、自分の家の近くの道路が国道 8 号線、国道 365 号線、国道 303 号線が一本になっている区間で「おにぎり 3 個の串刺し看板」があるという全国的にも珍しい場所らしい。

先日、自立生活プログラムの下見をするために 303 号線を岐阜路へと足を進めた。途中、土倉鉦山（つちくらこうざん）という廃坑があると知り、そこを探しているときに、間違って八草峠（はっそうとうげ）へと道を進めてしまった。本来ならば、入り口が通行止めという形で塞がれているが、ふとしたところに第 3 の入り口があって、迷い込んでしまったのである。八草峠は昭和 45 年、多くの人々の願いの下で国道に昇格した。2001 年に八草トンネルが開通し八草峠に続く道は閉ざされることになった。今まで多くの時間を費やさねばならなかった峠越えも数分間のトンネル走行でことが足りるようになった。そのかわりに、旧道は入り口が塞がれ、道には草が生え、落石崩落の危険性もあり、走行困難な区間になった。いずれ、アスファルトやガードレールなどが撤去されぬまま、山林と一体化していこう。また、峠があったことすら、人々の記憶からも消えていくであろう。でも、よくよく考えれば国道になる前からの通り道にあったで違いない。当時から多くの人が往来し、景色を楽しんだに違いない。そこには生活道路としての峠道があり、それを利用した人々の思い出があるのだろう。

都市部の一極集中化によって、地方にある峠道は、そこに起居する人々の生活道路ではなく、都市間交通のための社会資源となった。地方の広大な林野は、人々が都会でより快適に生活できるようになるための「道具」と化してしまった。その最たる物が原発であろう。木之本から 30 キロほど離れた福井県にも原発銀座があるけれども、あそこで発電される電気は関西 3 大都市の生活を潤している。原発の誘致と引き替えに、道路、港湾が整備されるのである。そして、新道の誕生によって、保守コストがかかる旧道は永遠の眠りへと誘われる。

長浜市と敦賀市、揖斐川町のトライアングルゾーンには、かなり多くの旧道が山林に埋まりつつある。調べればわかるが、旧余呉町圏域では 7 つの村とそれに通じる道が地図から消えた。これも、都市部の人々がよりよく生活するための治水関係の強制移転が原因である。都会では、ドーナツ化減少によって、ベッドタウンが多く造成されていく一方で、山間部では人家や石碑などの歴史的建造物が地図から消え、山肌と一体化していく現状があるのである。

昔、山間部には意味があって人々は住み着いた。山間に生きることを生業とし、そこに起居する意味を見いだしていたと言える。去年の 12 月、地方の交通バリアフリーを考えるシンポで、「山間部のバリアフリーなどの社会資源を整備するより、住民を都会へと移住させた方がいい」（要旨）と、発言した霞ヶ関の住民がいる。これは、山間部の村落は、地図上から消えてもいいということの意味する。そのような発言の裏側にある「歴史があったことの抹消」が次々と実際に行われていることは、都会の人々には知らされていない。

大都市圏域ばかり渡り歩いてきた私にとって、木之本に移住して廃村、廃道の多さを驚きをもって痛感する。大都市の生活と引き替えに歴史から消えそうになって、周りの風景と一体化していく「道たち」を見ていると、大都市の生活の礎になって歴史まで失わなければいけない山間部の現状を痛切に感じるのである。

（よりたか つねのふ）



---

## 職員リレートーク

### 多くの出会いに感謝します！！

四月からこの『CIL だんない』でお世話になることになりました。福祉経験は障害者との余暇活動のボランティアに始まって、老人福祉施設、そして障害者が就労する作業所で働くことがありましたが、子育てで長い間のブランクで、何もかも不安な中スタートしました。福祉の現場と言っても、私が知る今までの福祉の現場とはまったく違う世界で、マニュアルのない仕事にかえって戸惑いと不安がすごくありました。しかし、少しずつ当事者のみなさんと介助にも慣れ、『障害者が頑張るのではなく、社会が変わればよい』という、当事者主権のやり方が、知れば知るほど新鮮でやりがいのある仕事だと、日々感じるようになりました。なぜか「働きなさい！」と日々時間に追われ、多くのことをこなすということが当たり前の日常、理想とはかけ離れた抑圧した社会に自分があまりに影響されていることに気がつきました。そこから乾いたスポンジが水を吸うように吸い込まれていく自分がいます。ありのままでもいい、そんな自分の姿をそのまま受けてもらえる受け皿のような場所ができ、ますますだんないの魅力にとりつかれ、自分らしくいられるこの事業所を『みなさんにも知ってもらいたい！』という強い気持ちをもつようになりました。四月にスタートした頃のだんないが、真っ白だったのに、少しずつ色をつけ形になっていく変化が、自分も楽しくもあり、『だんない』という事業所が、他のどの事業所にも、とらわれない独自の事業所の姿になっていることが、この数ヶ月で見えてきました。日々の活動を通して、私自身がこんなにも出会いに感動したりできるのは、これまで多くの出会いに影響を受けてきたから、今の自分があるとそう感じずにはいられません。私にとってもだんないに出会えたことは不思議なご縁なのです。そして、介助を通してまた交流が増え世界が広がりました。私自身が活動を通して『だんない』に活力を与えてもらっています。この『だんない』に出会えてよかったという感動を、これから出会うすべての人に一人でも多くの人に知ってもらえたらと思います。

介助やヘルプ内容は一人一人違います。ヘルパーには当事者の気持ちを理解し大切に、私も一緒に学びながら、みなさんの気持ちに添えるようなヘルパー、そしてサービス提供責任者として、みなさんの声の橋渡しをさせていただけるような大切な仕事をさせていただきたいと思います。この『だんない』で日々勉強させていただけることに本当に感謝しています。だんないは、まだスタートしたばかり、私自身まだまだ未熟ですが、どうぞご支援よろしく申し上げます。

居宅介護事業所「さざなみ」 サービス提供責任者 山田やよい

---

取材を受けました

# 障害超え自立生活へ

## 同級生2人でNPO設立

### 長 浜

障害のある同級生2人が、互いの夢である「家族に頼らない自立した生活」の実現に向け、長浜市木之本町でNPO法人「自立生活センターだんない」を設立した。「障害者ばかりで、何もできない」という障害観を変えたい」と燃えている。(伊藤弘喜)

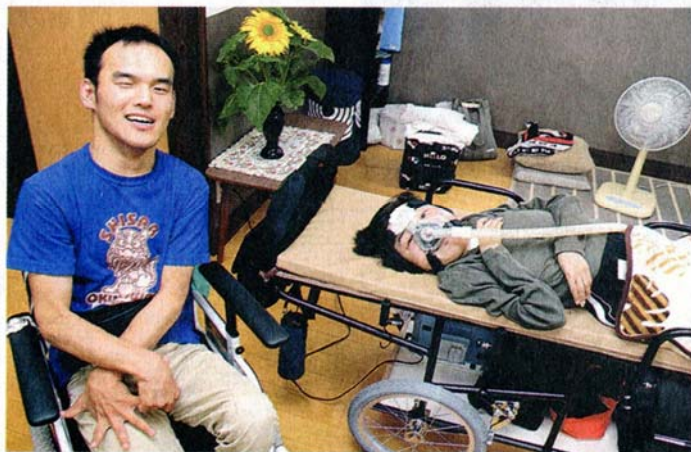
### ヘルパー事業協力者募る

二人は、代表の美濃部裕道さん(三三)＝同市木之本町、副代表の市川春照さん(三三)＝米原市春照。県立長浜養護学校の高等部で同じクラスだった。二人は、代表の美濃部裕道さん(三三)＝同市木之本町、副代表の市川春照さん(三三)＝米原市春照。県立長浜養護学校の高等部で同じクラスだった。

市川さんは筋ジストロフィーで、六年前からマスク型の人工呼吸器を使用。手でパソコンのマウスを動かす。美濃部さんは大谷大輔さん(三三)＝同市木之本町、副代表の市川春照さん(三三)＝米原市春照。県立長浜養護学校の高等部で同じクラスだった。

二人は、代表の美濃部裕道さん(三三)＝同市木之本町、副代表の市川春照さん(三三)＝米原市春照。県立長浜養護学校の高等部で同じクラスだった。二人は、代表の美濃部裕道さん(三三)＝同市木之本町、副代表の市川春照さん(三三)＝米原市春照。県立長浜養護学校の高等部で同じクラスだった。

無い場を目指すという決意も込めた。悩みはホームヘルパー不足で、協力者を募っている。事業の柱となるヘルパー派遣を問う。開するにも、市川さんや美濃部さんの自立を支えるにも足りていない(50) 3639へ。



夢の自立生活に向けて一歩を踏み出した美濃部さんと市川さん(長浜市のだんない)

## ご寄付をいただきました

去る8月19日に、半世紀以上前から湖北地域において慈善活動に取り組まれていた木之本仏教会様より、本法人にご寄付をいただきました。その会は、お寺の方がメンバーとなり、地域の子どもに対して余暇支援を行なったり、托鉢をしながら募金を集めて必要な支援をしたりされていたそうです。最近では、メンバーの方が高齢になり、会として活動できなくなったということで、だんないの活動目的をご理解いただいた藤谷会長のご意向とメンバーの方々のご賛同により、ご寄付いただくこととなりました。本当にありがたい限りです。そして、身の引き締まる思いです。

会長の藤谷様より、これまでの仏教会の活動を伺いました。長年にわたる活動の目的や内容に感銘を受け、身震いさえました。仏教会の活動姿勢に見習っていかうと思いを新たにしました。開業し始めて半年ほどが経ちました。木之本仏教会様の思いを十分に引き継いでいけるかわかりませんが、だんないなりに精一杯活動してまいります。いただいたご寄付は大切にさせていただきます。



NPO法人 CIL

指定居宅介護事業所 さざなみ

だんない

NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

TEL : 0749-50-3639

URL : [www.ab.auone-net.jp/~dannai](http://www.ab.auone-net.jp/~dannai)

FAX : 0749-50-3961

E-mail : [dannai@ae.auone-net.jp](mailto:dannai@ae.auone-net.jp)

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない